

日時：令和6年8月23日(金)

14:00~16:20

会場：能代市文化会館中ホール



講演① 14:00~15:10

「東北の森林・林業・木材産業の今後を考える  
～林野行政マンからみた景色～」

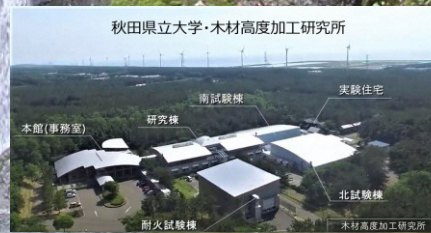
講師：大政康史（林野庁東北森林管理局長）

講演② 15:20~16:20

「秋田の未来に向けた秋田県立大学  
・木材高度加工研究所の挑戦」

講師：高田克彦  
（秋田県立大学木材高度加工研究所所長）

13:30開場  
入場無料



司会 秋田県立大学・木材高度加工研究所  
野田 龍 准教授

主催：能代木材産業連合会 市民おもしろ塾  
後援：能代市 秋田県山本地域振興局 秋田県立大学木材高度加工研究所  
秋田県木材加工推進機構 米代西部森林管理署  
秋田県木材産業協同組合連合会 北羽新報社 秋田魁新報社  
問合せ先TEL：能代木材産業連合会(0185-52-5249)  
市民おもしろ塾(090-7792-1293)

\*マスク着用をお願いします

木材利用・森林整備と能代の可能性を考える!!  
行政中枢・技術研究第一線者による能代講演

※本チラシには能代市市民まちづくり活動支援事業補助金を活用

## 大政康史先生（林野庁東北森林管理局長）

### 略歴

愛媛県松山市生まれ。

平成元年九州大学農学部林学科（砂防工学専攻）を卒業し、同年、農林水産省林野庁入省。大分西部森林管理署長、大分県森との共生推進室長・林務管理課長、林野庁技術開発推進室長・治山課長・森林総合研修所長、（国研）森林総合研究所総括審議役を経て、令和6年1月より現職。

その他、栃木県南那須町（現在の那須烏山市）、パプアニューギニア国立森林研究所にも勤務。



### \*今回講演

#### 『東北の森林・林業・木材産業の今後を考える ～林野行政マンからみた景色～』について

これまでのキャリアで関わった業務としては、森林の防災関係（治山）が最も長く、台風や大雨・地震等により山崩れが発生した際、本省・現地や政府対策本部等で様々な対応をしてきました。

また、現場としては九州地方での勤務が長く、中国木材の大型工場進出（日向工場、約13万坪）が2014年から行われるなど、成長が旺盛なスギ等を活用した「国産材時代」を東北に先駆けて迎えている状況です。

今回の講演では、九州地方での林業・木材産業の動きも踏まえつつ、今後、東北地方の森林・林業・木材産業がどの様になっていくと思われるのか、林野行政マンの視点からお話させて頂ければと思います。

## 高田克彦先生（秋田県立大学木材高度加工研究所所長）

### 略歴

1987年	北海道大学農学部 卒業
1992年	北海道大学大学院農学研究科 博士後期課程 修了
1992年－1994年	科学技術庁科学技術特別研究員 （農林水産省林野庁・森林総合研究所勤務）
1994年－2001年	九州大学農学部 助手
2001年－2006年	秋田県立大学木材高度加工研究所 助教授
2006年－2007年	秋田県立大学木材高度加工研究所 准教授（法人化改組）
2007年－	秋田県立大学木材高度加工研究所 教授
2018年－	森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社 代表取締役社長
2020年－	秋田県立大学木材高度加工研究所 所長

専門は森林資源遺伝学。

主な著書 「コンサイス木材百科（2011）（編集責任者、分担執筆）」  
「バニラのすべて（2015）（分担執筆：第1章、第2章、第3章）」  
「フォレスト・プロダクツ（2020）（編著）」など。



### \*今回講演

#### 『秋田の未来に向けた秋田県立大学・木材高度加工研究所の挑戦』について

秋田県立大学は2024年度からJST（国立研究開発法人科学技術振興機構）の支援を受けて、COI-NEXT（本格型）「森の価値変換を通じた、自律した豊かさの実現拠点」プロジェクトをスタート、木材高度加工研究所はその中核機関として活動します。

今回の講演ではこのプロジェクトの説明を通して、10年後、20年後の秋田のあるべき姿を皆さんと考えたいと思います。